

～誰とつながりたいですか

何を伝えたいですか～

大阪大学大学院文学研究科

「徴の上を鳥が飛ぶIII——文学研究科におけるアート・プラクシス人材育成プログラム」

活動③「パフォーミング・エコロジー」公演

パフォーミング・エコロジー

公衆電話式ダイアローグの試み

廃れつつある公的なコミュニケーション・ツールである公衆電話を使い、個人の記憶や現在の有り様を探求するレクチャー・パフォーマンスの試み。大阪大学大学院文学研究科が主催するアートマネジメントプログラム「徴の上を鳥が飛ぶIII——文学研究科におけるアート・プラクシス人材育成プログラム」の講座のひとつ、活動③「パフォーミング・エコロジー」では、レクチャー・パフォーマンス公演「公衆電話式ダイアローグの試み」を開催します。事前に本プログラムの受講者が実施した課題をもとに、林慎一郎が台本構成・演出を致しました。公演にはプログラム受講者が主体となって出演します。



2022年

1/16 (日) 15:00開演 (14:30開場) 吹田メイシアター小ホール

(大阪府吹田市泉町2-29-1、お問い合わせ: 06-6386-6333)



入場無料 (要予約)

以下のフォーム、もしくは右のQRコードから
お申し込みください

<https://forms.gle/ed8hFmRZKF4ApLNw8>



[出演] 〈徴の上を鳥が飛ぶIII〉 受講生有志、加藤智之 (Daniel Lonely)、小坂浩之

[台本・演出] 林 慎一郎

北海道函館市出身。京都大学総合人間学部卒業。大学在学中に演劇活動を開始。

2004年、伊丹想流私塾にて北村想に劇作を師事。2007年、公演ごとに俳優を集める個人プロデュース「極東退屈道場」を立ち上げる。

2011年、『サブウェイ』で、第18回OMS戯曲賞大賞を受賞し、以降、2年に渡り再演を続け、「列島縦断延伸ツアー」と称し、全国の地下鉄保有5都市（札幌、仙台、東京、大阪、福岡）にて上演する。

2013年、『タイムズ』で、第20回OMS戯曲賞特別賞を受賞し、佐藤信演出により再演する。

2016年、『PORTAL』(演出: 松本雄吉 (劇団維新派)) で、第61回岸田國士戯曲賞候補。「都市」を題材に、膨大なモノローグと映像やダンスを用いた「報告劇」を立ち上げており、都市に対するその独特な切り口と、都市生活者たちの人物造形が特徴。劇作家として、他の演出家との作業も積極的に行なっている。

大阪市立咲くやこの花高校演劇科講師。劇作家、演出家としての活動の他、劇場主催の演劇ワークショップなどの講師も多数務める。



[企画・立案] 永田靖 (大阪大学大学院文学研究科・大阪大学総合学術博物館)

[制作] 奈良歩

主催: 大阪大学大学院文学研究科、共催: 大阪大学総合学術博物館

連携: あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール、大阪中之島美術館、浄るリシアター、公益財団法人吹田市文化振興事業団 (メイシアター)、豊中市都市活力部魅力文化創造課、兵庫県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター)、公益財団法人 箕面市メイプル文化財団

協力: 大阪アーツカウンシル、大阪市立東洋陶磁美術館、

京都コンサートホール (公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)

令和3年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

